

アート

Botão Gallery

Fly me to the AOMORI 青い森へ連れてって

名古屋市内の全6会場で同時開催する青森県立美術館のプロデュースによる「青森」をテーマにした展覧会を行います。その会場の一つとしてポタンギャラリーでは青森県立美術館に関わる作家によるインスタレーションや写真が展示されます。期間中には6会場をめぐるスタンプラリーも開催中です。

会期

2015年12月10日(木)～12月19日(土)
日・月休み

開館時間

11:00～19:00(入場は閉館時間の30分前まで)

入場料

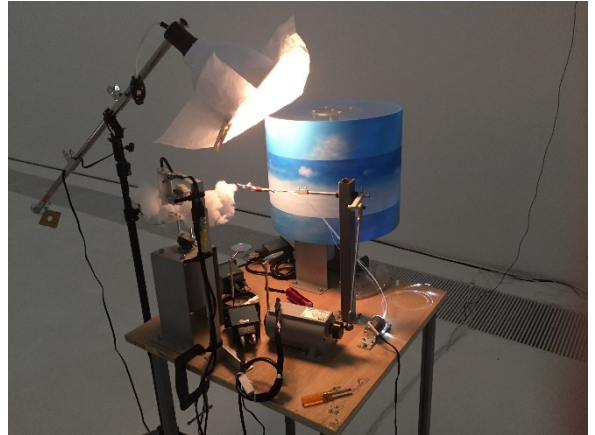
無料

会場

Botão Gallery (ポタンギャラリー)
名古屋市港区名港1-15-13

主催

青森県立美術館



伊藤隆介 (参考)Realistic Virtuality (Flying Giant) 2003年

■展覧会の見どころ

本会場では、美術家の伊藤隆介による「特撮」をモチーフにしたインスタレーションを中心に、「ウルトラ」シリーズのヒーロー、怪獣デザインを手がけた青森の作家、成田亨の仕事を紹介します。

◎プロフィール

伊藤隆介 (映像作家/美術家)

1963年 札幌市生まれ。東京造形大学で映像作家かわなかのぶひろ氏に師事、アートフィルム(実験映画)の制作を始める。詩的、私的な短編映像や、フィルムの物質性に着目したコラージュ/モンタージュ作品「版(Plate)」のシリーズ、撮影用のセットと映像を併置したビデオ・インスタレーション「Realistic Virtuality(現実的な仮想性)」シリーズなどの制作を行う。主な展覧会として、「第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005」(福岡アジア美術館、2005年)、「ラブラブショー」(青森県立美術館、2009年)、「黄金町バザール2012」(黄金町/横浜、2012年)、「Art and Air」(青森県立美術館、2012年)、「伊藤隆介ワンマンショー; ALL THINGS CONSIDERED」(札幌宮の森美術館、2014年)等がある。

【お問い合わせ】

港まちづくり協議会事務局 広報：岡西

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23

Minatomachi POTLUCK BUILDING (みなとまちポットラックビル)

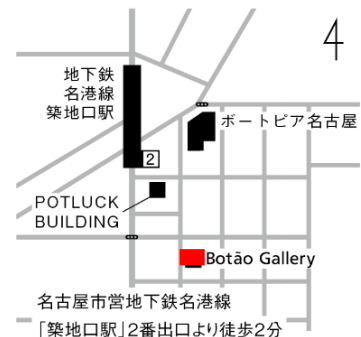
TEL | 052-654-8911

Mail | okanishi@minnatomachi.jp

Web | minnatomachi.jp mat-nagoya.jp

Botão Gallery (ポタンギャラリー)

地域に眠る“資源としての空き家”に陽光をあてるプロジェクト「WAKE UP!Project」の第1弾として、アーティストの渡辺英司氏を監修に迎え、旧ポタン店を改装したウィンドウギャラリー。



*ウィンドーギャラリーのため室内への見学希望の際は「ポットラックビル」にご来館ください。